

《シドニーでの新しい Braille street signs（点字や音声での道路案内）の導入》

1、概要

シドニー市が、特に視覚障がい者に配慮した新しい案内板を今後 10 年間で設置する。主要な歩行者用交差点 2000 か所の信号柱に、通りの名前を立体文字と点字（braille）で記したプレートを取り付けるほか、触地図や近辺の情報の音声案内等を含む案内板を設ける。

Liveable Green Network（注）の一環として行われ、この計画での点字プレート・案内板の設置は、NSW 州で初めて、かつオーストラリア国内で最大規模となる予定。計画にあたっては、こうした案内板を設置して長く、成功例といえるロンドンを参考にした。

2、現状、問題点

- (1) 1990 年代初めに設置されたゴム製の点字プレート（立体文字と点字を含む）が老朽化して擦れてきている。
- (2) 視覚障がい者の多くが歩行中に利用する信号機の音、杖、盲導犬等では方向感覚がつかみにくい。



現在のゴム製プレート

3、新しい Braille street signs（以下の 2 種類が導入される）

(A) 信号柱の点字プレート

- * 立体文字と点字で、通りの名前やナンバーを明記（従来通り）。
- * アルミニウム製で、取り外しが容易なプレートを利用。



(B) 観光名所等での案内板

- * 触地図、近くの場所の名前、観光地等への距離を明記。
- * QR コードの利用：Braille signs に QR コードを表示し、スマートフォンでの地図ダウンロード、道のりの音声案内、市や観光地の情報を提供するウェブサイトへの接続を可能にする。



※2014 年 6 月現在、信号柱のプレートへの QR コード表示は検討中

（写真 A、B 出典：Guide Dogs NSW/ACT HP）

B

4、Circular Quay での試行（2013 年 6 月 19 日～7 月 1 日）

Circular Quay では、実物大の模型を利用して試行が行われた。参加した視覚障がい者達からは文字の大きさや位置等に関して改善案が挙げられた。この改善案等を参考にして今後 38 個の新しい模型が York Street 沿いに設置されることになっており、実際の運用に向け調整を行うことになる。

注：シドニー市が策定する 10 年計画のひとつで、人々と市役所（支所を含む）や主要交通機関・娯楽文化施設・公園等をつなぐ歩行・自転車のネットワークを創ることを目的としたもの。

（2014 年インターン：新井佑理）